

SDGsの17のゴール全てに取り組むことは、一見大変に思えるかもしれませんが、決して難しいことではありません。SDGsは、一つの目標が別の目標と互いに関連し合っているため、総合的に目標達成に向けて取り組むことができます。そのため、身近なことから取り組む第一歩が大切です。誰もが気軽に行動することができ、具体的な見ながら考えてみましょう。

17のゴールにつながる1つの行動が

SDGsに取り組む上で、最も大切な基本理念に「誰一人取り残さない」があります。これは、国や地域、年齢、性別、宗教などに優先順位を付けて問題解決を図るのではなく、さまざまな人が協力し合い、全ての人に向けた取り組みを行うことで、持続可能な世界の実現を目指すための理念です。

誰一人取り残さない



例) 1つの目標に向けた取り組みが他の目標に関連

目標13「気候変動に具体的な対策を」達成に向けての取り組み



原因
 ・ 二酸化炭素などの温室効果ガスの増加
 ・ 森林破壊

取り組み
 ・ エコバッグなどを活用して、ごみを削減
 ・ ごみを分別して、リサイクルを促進
 ・ 再生紙を利用して、森林資源を保全



目標11・12・14・15にもつながる



SDGs 用語解説

エスディージーズ SDGs

「Sustainable Development Goals」の頭文字をとった表記。日本語訳で「持続可能な開発目標」。17のゴールと169のターゲットで構成される2030年までの国際目標。詳しくは、外務省ホームページ（QRコード）をご覧ください。



ステークホルダー

企業や行政、NPOなどの行動に直接・間接的な利害関係を持つもの。

エムディージーズ MDGs

「Millennium Development Goals」の頭文字をとった表記。日本語訳で「ミレニアム開発目標」。8のゴールと21のターゲットで構成される2015年までの国際目標。

相対的貧困

その国や地域の文化水準、生活水準の中で比較して、大多数よりも貧しい状態のこと。日本は、先進国34カ国中10番目に貧困率が高く、深刻な問題となっている（2018年）。

あなたの行動が世界を変える！

SDGs Sustainable Development Goals

図 経営戦略室 (TEL049・262・9000)

1人1人の行動が...



貧困のない世界 地球保護 平和と豊かさの享受 につながる



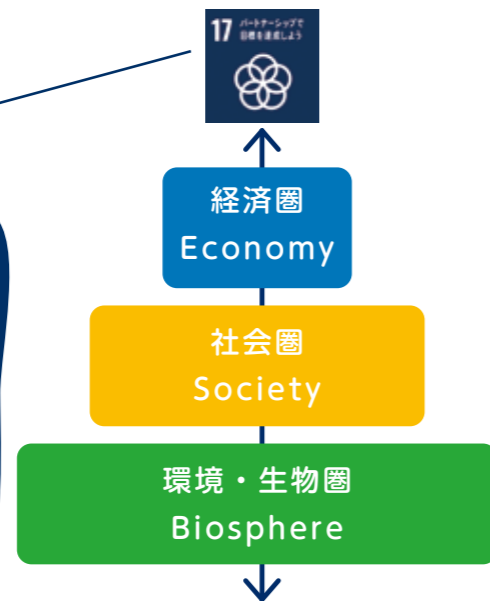
SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」という文書に記載された、世界全体で取り組む目標です。2015年までは、ミレニアム開発目標（MDGs）が、世界全体で取り組む目標で、発展途上の多くが抱える問題に対する解決が目標とされてきました。しかし、世界全体ではなく、一部の国や地域が対象となっていました。SDGsでは、貧困に終止符を打ち、地球環境を守りながら、全ての人が平和と豊かさを楽しめるようにするため、途上国だけでなく、先進国を含めた世界全体で

さまざまな課題解決に向けて取り組むための目標となりました。国際的な目標であるため、一見すると私たちの生活には、直接的な関わりが薄く感じるかもしれませんが、日本では7人に1人の子どもが相対的貧困（2018年の厚生労働省の調査）の状況であるなど、実は関係が深いものです。このような問題の他にも環境問題など、地球規模の課題が多くあります。SDGsは私たちが地球でいつまでも豊かに暮らし続けるための世界共通の目標なのです。

世界の目標「SDGs」

エスディージーズ

17 パートナースhipで目標を達成しよう
 キーワード：ステークホルダー、パートナー
 さまざまな人がSDGsを「自分ごと」として捉え、協力して目標達成する
 ●包括連携協定



これら3つの階層を貫くように目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」が設定され、国や企業、全世界の人が手をとり合い、一丸となって持続可能な社会をつくることの大切さを示しています。
 ここでは、本市のSDGsに関連する主な取り組みを階層ごとに紹介します。

スウェーデンのストックホルムにあるレジリエンス研究所の所長が考案した「SDGsウエディングケーキモデル」は、それぞれのゴールを「環境・生物圏」「社会圏」「経済圏」の3つの階層に分けて整理しています。地球環境の基盤の上に、私たち人類の社会があり、経済が成り立つことを表しています。

ふじみ野市の取り組み

本市では、ことし10月にSDGsの達成に向け、基本的な方向性を示した推進方針を策定しました。
 方針では、「理解する」「つながる」「行動する」という3つの基本的な方向性の下、市職員研修や市民の皆さんへの情報発信、さまざまなステークホルダーとの連携を行いながら、市民の皆さんとともにSDGsを正しく理解した上で、できることから取り組んでいくことを明記しています。

ふじみ野市 SDGs 推進方針

経済圏

キーワード：働きがい、経済成長、技術革新

8 働きがいも経済成長も
 全ての人にとって包摂的で持続可能な経済成長と雇用、働きがいのある人間らしい仕事を促進する
 ●上福岡七夕まつり・おおい祭りの実施
 ●「ふじみ野市キラリと光るものづくり企業ガイド」の作成

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 強靱なインフラを整備し、持続可能な産業化を促進し、技術革新を育てる
 ●事業所の労働生産性の向上と先端設備投資の促進への支援

10 人や国の不平等をなくそう
 国内の地域格差や国家間の不平等を是正する
 ●外国語版生活ガイドブックの作成
 ●全小中学校へのALTの配置

12 つくる責任 つかう責任
 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
 ●ごみとして出された家具や自転車のリサイクル販売
 ●ペランダ de キーエー口の普及
 ●1530運動

社会圏

キーワード：健康、差別・偏見の解消、教育環境

1 貧困をなくそう
 あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ
 ●経済的な事情などを抱える家庭を対象とした学習支援
 ●フードドライブの実施

2 飢餓をゼロに
 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状況の改善を達成し、持続可能な農業を促進する
 ●地場野菜直売市「採れたて☆ふじみ野畑」の開催
 ●フレイル健康相談の実施

3 すべての人に健康と福祉を
 あらゆる年齢の全ての人々の健康な生活を確保し、福祉を増進する
 ●「こころの健康相談」の実施
 ●元気・健康マイレージ事業
 ●上福岡駅東口駅前広場の整備

4 質の高い教育をみんなに
 全ての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
 ●GIGAスクール構想実現に向けた環境整備
 ●市民大学ふじみ野の運営
 ●文化芸術のアウトリーチ事業

5 ジェンダー平等を実現しよう
 ジェンダー平等を達成し、全ての女性と女兒のエンパワメントを図る
 ●職員の多様な働き方の推進(埼玉県ウーマノミクスプラチナ認定)
 ●男女共同参画の推進

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 手頃な価格で、信頼できる持続可能な現代的エネルギーを全ての人々が利用できるようにする
 ●環境センターから発生する余熱利用(エコパ)
 ●公共施設の太陽光発電

11 住み続けられるまちづくりを
 安全で、災害に強く、誰もが住み続けられるまちをつくる
 ●雨水貯留浸透槽の整備
 ●公共施設の耐震化工事
 ●市内小中学校体育館の空調設置工事

16 平和と公正をすべての人に
 さまざまな暴力から全ての人を守り、平和で誰一人取り残さない社会を実現する
 ●弁護士や司法書士による市民相談
 ●Fメールなどによる犯罪情報や防犯情報の発信

環境・生物圏

キーワード：環境、気候変動

6 安全な水とトイレを世界中に
 全ての人々が安全な水源と衛生施設を利用できるようにする
 ●全小中学校体育館のトイレの洋式化工事
 ●検査を徹底した安全でおいしい水道水の提供

13 気候変動に具体的な対策を
 気候変動とその影響に取り組むために、緊急の対策を取る
 ●総合防災訓練の実施
 ●環境学習講座の開催

14 海の豊かさを守ろう
 世界の海洋と海洋資源を守り、持続可能な形で利用する
 ●ポイ捨て防止キャンペーンの実施

15 陸の豊かさを守ろう
 持続可能な形で森林を管理し、砂漠化に対処し、土地の劣化を食い止める生物多様性の損失に歯止めをかける
 ●弁天の森の用地購入



あなたもSDGsにトライ！

トライ1

子ども食堂やフードドライブに協力しよう



▲子ども食堂（市ホームページ）

トライ2

身近な場所へは、自転車や徒歩で移動しよう
交通ルールを守ろう



トライ3

ごみ分別アプリを活用して、ごみを捨てよう
買い物では、エコバッグを使おう



▲ごみ分別アプリ（市ホームページ）

トライ4

水道の蛇口をこまめに止めて、節水を心がけよう
お風呂の水を洗濯に再利用しよう



「お店の味をご家庭で」をコンセプトに、こだわりの生麺を作り、スーパーなどに卸している大正元年創業の埼玉物産株式会社（福岡新田）。埼玉県環境SDGs取組宣言をし、埼玉県SDGsパートナーの登録申請をしています。そんなSDGsの取組を行う埼玉物産株式会社の代表取締役社長、加藤さんにお話を伺いました。

以前は、工場で作った不揃いになつてしまった麺を、食べられるのに産業廃棄物としてごみにしてしまつた。麺の廃棄ロスが大きな課題でした。ことしからこの廃棄麺を飼料として再利用してもらえるところが見つかり、廃棄麺を活用できるようになりました。

また、製造後の在庫は賞味期限が切れていないにも関わらず、出荷許容範囲が過ぎてしまつと小売店などに出荷できなくなりました。「何とか利用できないか」と考え、経済的な事情を抱える家庭の子ど

もたちを支援するフードパントリーに商品を寄贈する活動を始めました。

このように課題解決の取組みがSDGsの取組みにつながりました。活動を始めた今では「他にも何かSDGsの取組みにつながるものはないか」といつも探しています。

最初の一步が気付きに

他の取組みとして、卵の殻を使った紙の名刺を使つたり、地元雇用を中心に女性や外国人、高齢者などを積極的に雇用したりし

SDGsインタビュー

埼玉物産株式会社
代表取締役社長 加藤 康太さん



SDGsの取組みは、最初の一步目が大変でした。大きすぎる目標に対して「恐れ多い」「小さい会社には関係無い」などと考へてしまっています。しかし、いざやってみると、これもSDGsの取組みになると気付くようになります。自分ごととして考えることで、取組みやすくなります。今後も、会社や地域、社会の二つにあつた取組みをしていきたいと思っています。

埼玉県SDGsパートナーに登録しよう

埼玉県SDGsパートナーは、民間企業や市民団体などが、SDGsの取組みを自ら実施、公表し、県がパートナーとして登録を行う制度です。



市内の企業も登録しています。登録すると埼玉県SDGsパートナーロゴマークを使用することができます。詳しくは、県ホームページ（QRコード）をご覧ください。

対象 県内に本社・支社などを有し、県内で事業活動を行う企業・法人・個人事業主、NPO、団体、大学など
※個人は対象ではありません。



県計画調整課（TEL048・830・2133）



SDGsを学んで感じてポイントGET！



●「Esqueube」とは？

「SDGsに関する活動をチェック」「1日1問SDGsクイズに正解」「対象のイベントにある二次元コードを読み取る」などのSDGsに関する取組みをするとポイントが付与されます。貯めたポイントでくじに挑戦し、電子マネーや協賛品などの景品が当たるアプリです。

費用 無料（※通信料はかかります。）

利用方法 次のとおり

※詳しくは、県ホームページ（QRコード）をご覧ください。

